



医療・福祉 / SDGs 3

浮き子式流量計による流量監視警報装置

No.4

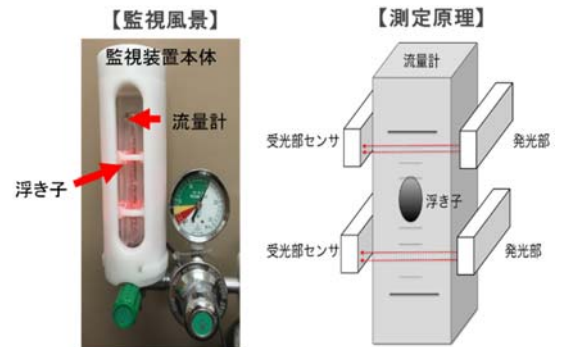
医学部附属病院 臨床工学技士

主任臨床工学技士 後藤 武(ごとう たけし)

URL: <http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/clindtl/c17mecenter.html>

技術概要

- ポンベ取り付け型流量計に後付けすることが可能な浮き子式流量監視警報装置(特開 2019-078601)
- 医療現場のニーズから生まれた成果。光センサーを用い、流量計の浮き子の変動により光が遮られると異常と判断し、アラームが作動する。



想定される活用例

- 浮き子式気体様流量計の監視警報装置としての製品化
- 医療現場に限らず、工場でも活用可能

相談可能な分野

- 現場ニーズに対応する医療機器の開発
- 心臓外科、循環器、集中治療、人工呼吸療法、臨床工学全般の医療機器関連

問合せ先

国立大学法人弘前大学

(産学連携)研究・イノベーション推進機構 E-mail ura@hirosaki-u.ac.jp

(特許)研究推進部 研究推進課 知的財産担当 Email chizai@hirosaki-u.ac.jp